



TITLE:

プログラム

AUTHOR(S):

CITATION:

プログラム. 地盤事故・災害における法地盤工学問題ワークショップ
2012: 共同研究（一般共同研究）23G-04.

ISSUE DATE:

2012

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/175573>

RIGHT:

地盤事故・災害における法地盤工学問題ワークショップ

プログラム

(Enrolments of Forensic Geotechnical Engineering for Geotechnical Accidents and Disasters)

主催 京都大学防災研究所 地盤事故・災害における法地盤工学研究委員会

協賛 公益社団 地盤工学会関西支部・応用地質学会関西支部

開催場所 京都大学防災研究所 防災研究所セミナー室Ⅲ(E-517D)

会費：ワークショップ出席 資料代 無料（数確定のため登録を岩崎好規 yoshi-iw@geor.or.jp までお願いします） 交流会（3000 円程度）

登録[氏名，所属，住所，出席（ワークショップ・交流会）を，できれば顔写真と共にお願いします。]

趣旨

地盤の各種問題に起因する事故・災害が地盤工事だけでなく，社会紛争化し，多発している現状にある。京都大学防災研究所による助成金を受けて地盤事故・災害における法地盤工学の役割に関する研究委員会（委員長 岩崎好規・幹事長 三村衛）では，2011 年 7 月に国際シンポジウムを大阪において開催し，地盤工事においては現場観測工法の確立を目指す提言を行った。今回においては，上町断層に関する紛争が多発している現状から活断層問題を一つのテーマとして特定し，枠組みをさらに広くし，議論を深める。

平成 24 年 1 月 13 日（金）

14:00 委員長 趣旨説明 岩崎 好規 地域地盤環境研究所

上町断層問題

14:15 上町断層概観 佃 栄吉 （独）産業技術総合研究所・地質分野副研究統括
14:45 弾性波反射探査から見た上町断層 末廣 匡基・横田 裕 阪神コンサルタンツ
15:15 上町断層系紛争事例 中川 康一 大阪市立大学名誉教授
15:45 活断層と建築規制 針原 祥次 弁護士，針原法律事務所
16:15 断層変位による構造物の被害発生メカニズムと対策手法 八尾 眞太郎 関西大学名誉教授
16:45 討論
18:00 交流会

1 月 14 日（土）

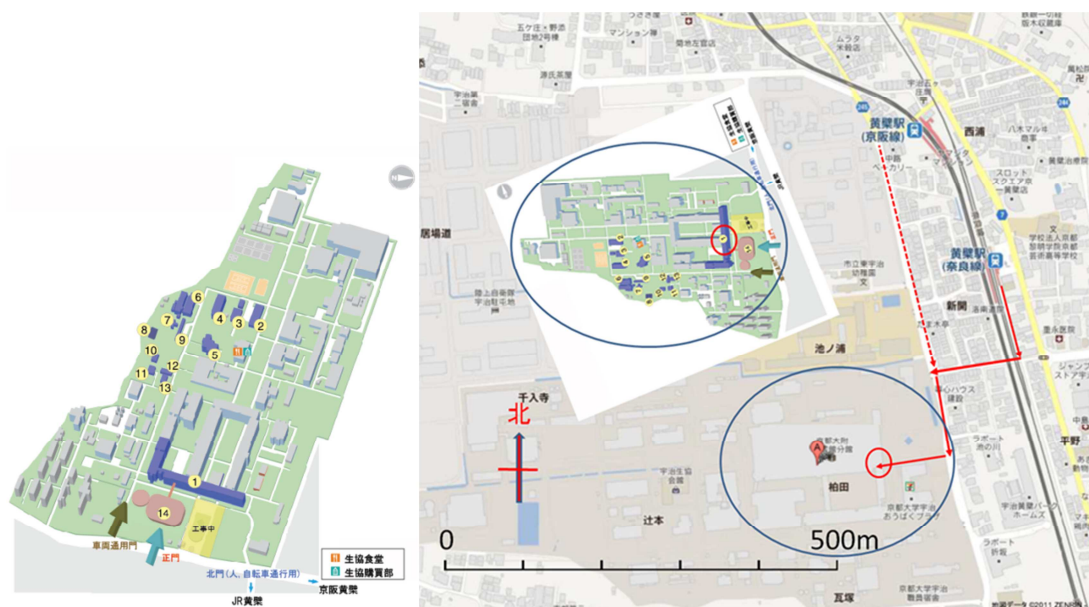
活断層・判例・和解・事例・研究

09:30 不均質（多層）地盤の一次元圧密沈下計算法について 諏訪靖二 諏訪技術事務所
10:00 建物近接の地下鉄工事に伴う道路面亀裂の発生とその原因の推定 今西 肇 教授，東北工業大学

- 10:30 工事振動による近接建物への影響について（訴訟事例）高幣 喜文 タカヘイ建築技術研究所
- 11:00 山陽自動車道岩国市災害 竹國一也 部長，西日本高速道路（株）関西支社建設事業部
- 11:30 上町断層帯に関する瑕疵担保損害賠償請求訴訟の事例紹介 松本 史郎・水口 哲也
弁護士，グローバル法律事務所
- 12:00 滋賀県某テールアルメ崩壊事故未払い工事代金請求訴訟について
（大阪高裁 平成 12 年(ネ)第 3155・3156 号事件） 横井和夫 横井技術士事務所 技術士
- 12:30 討論
- 13:00 Lunch Break

活断層・地盤情報および現場観測工法（Observational Method）

- 14:00 地質地盤情報の法整備化 佃 栄吉 （独）産業技術総合研究所
地質分野副研究統括
- 14:30 都市域活断層図作成の経緯とその利活用 岡田篤正 京都大学名誉教授
- 15:00 軟弱地盤における道路盛土の観測施工 飯塚 敦 教授，神戸大学
- 15:30 営業線地下鉄シールド直上の大規模近接掘削工事 大江郁夫 西松建設土木設計部
- 16:00 3.11「想定外」から学ぶこと（観測工法の理念に基づき）宇野尚雄 岐阜大学名誉教授
- 16:30 フランスにおける Observational Method(現場観測工法)の動き 清水 正喜 教授，鳥取大学
- 17:00 不確実性を多く含む土構造物における最適コスト追求のための意志決定 佐藤 毅，東洋建設
- 17:30 新聞記事にみる熊本地盤リスクと地盤技術者の社会的役割 福田光治，大成ジオテック
- 討論
- 18:00 終了
- 京都大学防災研究所 防災研究所セミナー室Ⅲ(E-517D)への道順案内（①棟 5 階）



(駐車場あります)